

万人に経済正義を

——カトリック社会教説と米国経済
に関する司牧教書——

*目次

万人に経済正義を—— 7

キリストの兄弟姉妹の皆さん 7
なぜ、この教書を書くのか 9
この教書の主要なテーマ 13
回心と行動への呼びかけ 19

第1章

教会と米国経済の将来—— 33

A 今日の米国経済、回顧と希望 38
B 今日の緊急な諸問題 41
C 道徳的ビジョンの必要 48

第2章

経済生活に関するキリスト教のビジョン—— 57

A 聖書の展望 59

1 神にかたどって創造されたもの 60
2 契約の民 63
3 神の国と正義 67
4 共同体における弟子となるように呼びかけられている 70
5 貧困と富、そして弟子としての挑戦 72
6 希望の共同体 76
7 生きている伝統 78

B 経済生活のための倫理的規範 80

1 社会生活の責務 82
a 愛と連帯性 82
b 正義と参加 84
c 周辺化と無力化の克服 89
2 人権——共同体における生活の最低限の条件 90

3 国家の道徳的優先順位 94

Cより大きな正義のために働くこと——人間と組織 100

1 働く人びとと労働組合 103

2 所有者と経営者 108

3 市民と政府 112

Dキリスト教の希望と行動する勇氣 116

第三章

特定の経済政策上の諸問題—— 127

A雇用 133

1 失業の範囲と影響 134

2 変化する経済の下での失業 137

3 行動の指針 141

a 一般的な経済諸政策 143

b 目標を設定した雇用の諸計画 144

c 新しい戦略の検討 148

B貧困 149

1 貧困の特徴 151

a 貧困の中の子供たち 152

b 婦人と貧困 153

c 人種の少数者と貧困 155

2 経済的不平等 156

3 行動の指針 158

4 結論 172

C食糧と農業 173

1 米国の農業——その過去と現在 174

2 行動の指針 181

3 政策と行動 185

4 農業共同体の連帯性 189

5 結論 190

D米国経済と発展途上諸国——複雑性、挑戦、および選択 192

1 相互依存の世界における経済関係の複雑性 192

2 カトリック社会教説の挑戦 196

3 地球規模の経済における米国の役割—建設的選択 198

4 国際経済体制の改革に対する米国の責任 214

E 結論 217

第四章

新しいアメリカの実験—公益のためのパートナーシップ— 235

A 会社および産業の内部における協力 238

B 地方および地域的な協力 243

C 国の政策を発展させる上でのパートナーシップ 246

D 国際レベルでの協力 251

第五章

将来への献身— 259

A 今日の世界におけるキリスト者の召命 261

1 回 心 262

2 礼拝と祈り 263

3 この世における聖性の招き 265

4 余 暇 268

B 教会への挑戦 270

1 教 育 271

2 家庭を支援すること 273

3 経済行為主体としての教会 275

C 前方への道 282

D 愛と正義の神の国への献身 284

選定文献一覧— 290

あとがき